

松竹大歌舞伎

渡辺霞亭 作
 二、玩辞楼 作
 土、面の内 土屋主税 一 幕二場
 長唄囃子連中

中村鴈治郎



上村吉弥

中村亀鶴



中村寿治郎



上村吉太朗



嵐橋三郎

板橋区立文化会館 大ホール 9月15日(金)

東武東上線大山駅下車徒歩3分 / 都営三田線板橋区役所前駅下車徒歩7分

料金 (全席指定) 1階席 6,000円 2階席 4,000円

●未就学児入場不可
●同時解説イヤホンガイド(有料)実施

前売開始 6月1日(木)

開演 昼の部 13:30(開場 12:30)
夜の部 18:00(開場 17:00)

【区内チケット取扱店】 ※窓口販売のみ、電話予約はできません

○定休日・営業時間は各店舗にお問い合わせください。
○店頭では先着順に販売いたします。

- 板橋区役所南館1F売店 CAFE DINING [NAKAJUKU] ☎ 6915-5066
- ハッピーロード大山商店街 ハローショップ「とれたて村」 ☎ 3958-9040
- 中板橋商店街中板堂 ☎ 3579-0010
- 宮の下商店街入口大野屋文具店 ☎ 3956-1417
- 板橋駅前本通り商店街 時計・宝飾・メガネ「光輝」 ☎ 3964-6511
- 志村坂上駅A3出口横書林朝日志村店 ☎ 3966-5840
- 高島平巻番街 高島平南天堂(巻番街店) ☎ 3936-4455
- 成増駅北口前長太郎不動産(成増駅北口前店) ☎ 3938-0002

《チケットの予約・購入》
板橋区立文化会館1階 受付カウンター
☎03-3579-5666 受付時間9時~20時

初日受付時間 9時~15時

※発売日初日(6/1)の会館予約はお電話(9:00~15:00・座席指定不可)、もしくはインターネット(座席指定可)にてご予約が可能です。窓口でのご予約は承りかねます。

※施設点検日の販売は、窓口・電話予約ともに17時で終了いたします。詳しくはお問い合わせください。

主催 / (公財)板橋区文化・国際交流財団 (区立文化会館内)

★インターネット購入★

板橋区立文化会館HPから
<https://www.itabashi-ci.org/cul/tickets/>
(24時間受付・発売初日は9時~公演日前日まで)

チケットWeb松竹(24時間受付) [チケットWeb松竹](#) 検索

チケットぴあ [Pコード519-093] t.pia.jp (24時間受付・発売初日は10時~)

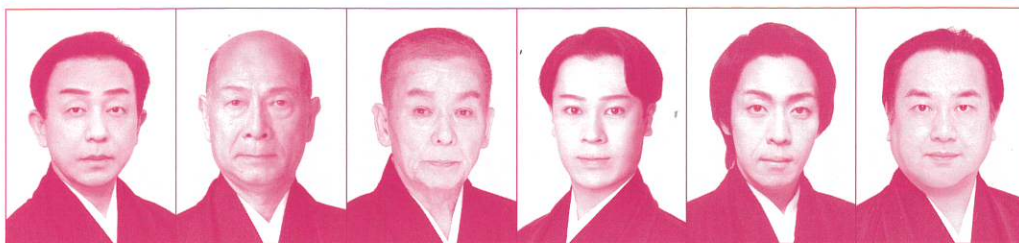
ローソンチケット [Lコード31730] l-tike.com

問合せ / 03-3579-3130 (平日9時~17時)

松竹大歌舞伎

令和五年度
(公社)全国公立文化施設協会 主催
西コース

製作
松竹



かみむらきちや
上村吉弥

あらしきつさぶろう
嵐橋三郎

なかもらじゅうじろう
中村寿治郎

かみむらきちたろう
上村吉太郎

なかもらきかく
中村亀鶴

なかもらがんじろう
中村鷹治郎

渡辺霞亭 作

一、玩辞の内 土屋主税

一幕二場

土屋主税
大高源吾
お高源吾
西川頼母
晋其角

中村鷹治郎
中村吉太郎
上村寿治郎
中村亀鶴
嵐橋三郎

赤穂浪士の一人である大高源吾が、西国の大名家へ仕官することが決まったと俳諧師の其角の家に別れの挨拶にやってきました。其角は饒別として「年の瀬や水の流れも人の身も」という句を贈り、源吾はそれに「あした待たるるその宝船」と付け句をしてその場を立ち去ります。其角は、源吾が附けた下句は仕官を喜んだ句であると考え、亡君への恩を忘れたのかと源吾の変節に立腹しますが、この一件を聞いた土屋主税は、討ち入りを暗示した句であると読み解きます。やがて隣家の吉良邸内から刃を交える音が聞こえてくると、主税は喜び、要所に高張提灯を灯させて、陰ながら浪士たちを援助するのでした。

明治四十二(一九〇七)年十月に大阪の角座で初演された、渡辺霞亭作の忠臣蔵の外伝物。俳諧を巧みに織り交ぜながら、討ち入りを待ち望む主税の心情を描いた、上方歌舞伎の代表的な名跡である中村鷹治郎家のお家芸「玩辞楼十二曲」の一つに数えられる名作です。

二、汐

汲

長唄囃子連中

蜚女菫藻
此兵衛

上村吉弥
中村亀鶴

時は平安時代。帝の逆鱗に触れ、須磨に流された在原行平は、松風と村雨という姉妹の蜚女を寵愛し、帝に罪を赦され都へ戻る際に自らの烏帽子と狩衣を形見として与えました。その浜辺にやって来た蜚女の菫藻は、汐汲桶に映る月影に、会うことの叶わない恋人への思いを馳せて舞を舞い始めます。そこへ、菫藻に思いを寄せる漁師の此兵衛が現れますが、菫藻は此兵衛をあしらいながら去っていくのでした。

女方の舞踊の中でも屈指の人氣曲のひとつであるこの作品は、在原行平が土地の蜚女と歌を交わしたという説話を基に、「古今和歌集」の行平が詠んだ短歌などが影響を及ぼして生まれた謡曲の「松風」が題材になっています。松風は幽玄能の中でも屈指の名作で、歌舞伎や浄瑠璃に大きな影響を与え、それらの作品の素材ともなりました。今回の「汐汲」もそのひとつで、菫藻の悲しくもまた初心な恋心や、此兵衛との駆け引きを舞踊仕立てで描き出しています。古風な情緒溢れる歌舞伎舞踊をじっくりとお楽しみください。

◆公演日程 ※公文協主催公演

※ 8/31 木 神奈川県横浜質市 よこすか芸術劇場

※ 9 (土) 広島県呉市 呉信用金庫ホール

※ 16 (土) 神奈川県相模原市 相模女子大学グリーンホール

9/1 金 神奈川県横浜市 桐蔭学園シンフォニーホール

※ 10 (日) 鳥根県益田市 鳥根県芸術文化センター「グラントウ」

※ 18 (月) 岐阜県岐阜市 岐阜市民会館

※ 3 (日) 福島県いわき市 いわき芸術文化交流館アリオス

※ 11 月 香川県丸亀市 丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス)

20 水 岡山県岡山市 岡山芸術創造劇場ハレノワ

※ 5 火 静岡県浜松市 アクティシティ浜松

※ 12 火 徳島県徳島市 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

※ 21 木 大分県佐伯市 さいき城山桜ホール

※ 6 水 三重県津市 三重県文化会館

※ 14 木 神奈川県藤沢市 藤沢市民会館

※ 24 (日) 沖縄県那覇市 那覇文化芸術劇場なはーと

※ 7 木 大阪府岸和田市 南海浪切ホール(岸和田市立浪切ホール)

※ 15 金 東京都板橋区 板橋区立文化会館 大ホール